

公表

放課後等ディサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ASIS		
○保護者評価実施期間		2026年2月2日	～ 2026年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間		2026年2月10日	～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>中高生対象のディであり、かつEスポーツやレクリエーションなど現実的な交流が多い。その中で起こる出来事を支援のきっかけにしているので、実践的な活動ができている。</p> <p>同年代との小グループ関わりの中でいろいろなことに気づき、学べる環境を作っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムは自分で選び、好きなことから活動に参加できるようにしている。 ・何かを教えるという形ではなく、「スキルを身につけたいと思う気持ちを作る」ことに一番力を入れている。 ・既存のプログラムだけでなく、学びたいことを自分で進められる時間も用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、飽きずにもっと楽しめるプログラムや環境を作ることが本当に難しく、また時間もかかる。 専門家を招くなど、より幅広い活動体験ができるようにしていきたい。

2	自己理解・他者理解を深め、自分自身が楽しくいられる環境を知り、進路につなげられるようにしている。子どもたち同士がサポートしあえるような環境作りも行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの最初に自己紹介を入れるなど、自分を伝えられる場面を多くし、相手のことも理解できるようにしている。 ・「どこででも通用するスキル」ではなく「自分にあった場所」「自分が行きたい場所」で使えるスキルを知ることを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ももっと自分をさらけ出し、いろいろな大人がいることを知ってもらう。 ・ASIS以外の場所や人たちと関わる取り組みを工夫していく。
3	自分で考え、動けるようにサポートしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは安心して活動してもらえるように、サポートしている。 ・周りと信頼関係が築けてきたら、サポートを調整し、小さい失敗体験も大事にしている。 ・自分で考えてできることはしっかり褒め、成功体験が残るように進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗体験があつたり嫌な思いをした場合、帰宅後のご家庭での様子の確認と共有も必要になってくる。より細かい連携がとれるように工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用の曜日を固定していないため、その日によって活動人数に差が出て、意図した活動ができないことがある。	「プログラムを自己選択する」というところに重きを置いているため、かたよりが出るのはしかたないこととは考えている。	児童の利用の傾向を知ることで、プログラム作成時に工夫することはできる。また、人数が少ない場合は個別対応に切り替えたりと臨機応変に対応していく。
2	地域の児童との交流などが取れていない。	地域の中学校、高校に通っている児童も多い。年齢的に、地元の他の児童との交流を求めていないケースも多いため。	自治体が開催しているイベントに、積極的に参加していくようとする。
3	家族支援プログラムがあまりできていない。	職員の知識、スキル不足も要因としてある。	専門家の方をお招きするなどしていきたい。親力フェなど、保護者の方同士が交流できる機会は定期的にもうけている。その後の時間に、ご家族も参加できるプログラムをもっと取り入れていく。